

要請番号 (JL30617A02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	G101 青少年活動		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/3 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

NGO アルコ・イリス基金
NGO

3) 任地 (ラパス県ラパス市) JICA事務所の所在地 (ラパス市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ボリビアは成長著しい中南米地域の中でも依然として貧困率の高い国である。都市部にあっても、収入の乏しい住民は非常に多く、子どもを育てる経済力のない家庭は少なくない。配属先は、1994年にドイツ人神父が設立したNGOで、ストリートチルドレン、ネグレクト、家庭内暴力などの状況にある恵まれない子どもたちの数を減らすことを目指し、ラパス市内で活動している。具体的には、児童養護施設などの福祉活動、貧しい青少年の職業訓練・収入創出活動、低価格で質の高い医療サービスを提供する病院の運営などの事業を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先が市内に5箇所設置している社会支援センターの一つで、ボランティアは同センターに併設される児童養護施設で活動する。施設には6-18歳の男子50名が入所しており、多くは「家庭が貧しい」「親が刑務所に入ってしまった」「アルコールや薬物の依存症のため」などの理由で、親から離れて路上で物売りなどをしていたストリートチルドレンだった。施設では、集団生活の中で掃除洗濯など身の回りのことを助け合って行い、地域の公立学校へ通学している。施設職員にはソーシャルワーカーや教育心理士等もあり、困難な過去を抱える入所児たちが心を癒すことができるようなカウンセリングを行っている。現在青少年活動の隊員(平成27年度2次隊)が、主にスポーツアクティビティを積極的に導入しており、同センターに貢献している。現隊員の行っている活動を継続し、更に工作分野の活動などを拡張できればと考え、今回の後任ボランティアの要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚らと協力し、以下の活動を行う。

- 入所している子どもたちが積極的に取り組むことのできる課外活動を提案・実施する。
- パソコンの簡単な操作(インターネットの使い方、文書作成など)の指導を支援する。
- その他、施設の日常活動や行事などの実施の支援を行う。可能な範囲で、子どもたちの宿題を見るなどの手伝いをする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、机、椅子、運動場2か所(いずれもコンクリート)

4) 配属先同僚及び活動対象者

センター長(50代、男性)

配属先コーディネーター(40代、女性、教育)

児童養護施設職員(17名、20-50代、男性及び女性、内ソーシャルワーカー2名、心理士1名、教育担当3名、医療担当2

名)
入所児童60名(6～18歳、いずれも男子)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：男子の児童養護施設のため [経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・子どもとの活動経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（高地地中海性気候） 気温：（10～20℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】